

上大岡駅前で市街地広報

神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 小澤3陸佐）は、7月14日（月）及び15日（火）の2日間、上大岡駅（京浜急行）前において市街地広報を実施した。

当日は、上大岡募集相談員（小山恭弘氏）の協力を得て、適齢者に対し自衛隊の募集種目等をPRした。7月1日、募集解禁とともに、集団的自衛権の解釈変更等の閣議決定を受け、社会的に反響の大きい中での市街地広報となったが、区民の方からは「暑いけど頑張って」、「自衛隊さんがいるから今の日本があると思います。応援しています」、「孫に紹介します」という嬉しい言葉や、部活帰りの野球少年からは「自衛隊いいなあ、俺自衛官になろうかなあ」という声も聞かれ、「区民に身近な自衛隊」、「将来の選択肢としての自衛隊」などについて、十分にアピールできた2日間となった。

上大岡募集案内所は、「今後も、募集対象者等の不安を払拭できる募集広報を積極的に実施し、募集適齢者情報の獲得及び防衛基盤の拡充を図る」としている。



上大岡募集案内所募集相談員

小山恭弘氏



えびな市民まつりで自衛隊をPR

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 小谷2海尉）は、7月27日（日）、海老名市が主催する「えびな市民まつり」で、陸上自衛隊第4施設群の支援を受け、募集広報を行った。

募集案内所のブースには、災害派遣の写真パネル、子供用迷彩服の試着コーナー、トラック・偵察用バイク及び6人用天幕を展示した。ブースに訪れた方々は、普段見ることのない陸上自衛隊の装備品を見学して、「自衛隊は凄い」と話していた。

厚木募集案内所は、「このようなイベントを通じて、地域の方々に厚木募集案内所を知ってもらい、募集広報及び防衛基盤の育成に努めていく」としている。



厚木募集案内所のブース



小田原市内の中学生・高校生が松島基地研修

神奈川地方協力本部小田原地域事務所（所長 林1陸尉）は、7月28日（月）、小田原市青少年育成推進員協議会が実施した「東日本大震災スタディツアー」を支援した。

このツアーには、小田原市在住の中学生及び高校生30名が参加し、26日（土）から、東日本大震災の被災地である気仙沼市、石巻市及び東松島市でボランティア活動などを行った。最終日の28日（月）には、航空自衛隊松島基地を訪れ、当時の自衛隊施設の被災状況や、救助活動に関するブリーフィングを受けた。また、偶然ブルーインパルスの訓練飛行を見学することができ、予期せぬサプライズに生徒達は大喜びであった。

小田原地域事務所は、「今後も地域の方々に自衛隊の活動を広報していく」としている。



松島基地でのブリーフィング



ブルーインパルス見学